「こんなお祭りあったんや」――きっと、もっと知りたくなる。奈良町の時間を楽しむ情報誌

伝統行事＆お祭りBOOK

NARAMACHI 奈良町

ならまち
きたまち
京　　終

VOL. 2

特集
地蔵盆

巡ろう！年に一度の地蔵盆

まだ涼しい夏の朝。町のお地蔵さんに人が集まり、地蔵盆の準備が始まります。お寺では、年に一度の地蔵供養に参加する子どもたちの姿が。掲げられた提灯にポッと明かりが灯りだす夕暮れ時。浴衣や甚平を着た子どもたちが縁日に繰り出し、町は一気に華やいだ雰囲気に包まれます。
子どもたちが無事に育ちますように――。
奈良町の地蔵盆には、大人から子どもへと紡がれる「祈り」の風景がありました。

地蔵盆再発見 Q&A

祭りの背景に郷土史あり。
とりわけ夏の地蔵盆は、時が経つにつれて埋もれがちな
「奈良町の記憶」を教えてくれます。
地蔵盆とはどういう行事なのか。気になる疑問にお答えします。

（上）昭和39年ごろ、新屋敷町（京終／㉓）での地蔵講のよう。地蔵盆のほか、毎月1回、地蔵講の女性による法会が営まれていた
（右）平成2年、興善院町（きたまち／⑮）・タ日地蔵の地蔵盆での一コマ。令和になった今も、真摯に祭る姿勢は変わらない

薄闇のなか、十輪院（ならまち／Ⓑ）本堂の提灯が浮かび上がる。堂内にはたくさんの人々が祈りを捧げる姿が

Q1 地蔵盆ってどんな行事？

A

お地蔵さん（地蔵菩薩）の祭りで、近畿一円の夏の行事です

地蔵菩薩を祭る寺で法会が営まれるほか、町内の石仏やお堂の地蔵菩薩を、町の人たちが祭る行事が広く行われます。お供え物をして提灯を掲げ、御詠歌や和讃（※1）を唱えたり、数珠繰りをしたり、あるいは子どもたちに菓子を配るなど、地蔵盆は地域の祭りとして親しまれてきました。
これほどまでに地蔵信仰が広まったのは、中世に浄土信仰の広まりとともに、地蔵菩薩が死後の世界で苦しむ死者を救う仏として篤く信仰されたこと、また地蔵は弱者＝子どもを守る仏とされたことに由来するのだとか。とくに奈良では中世以降、地蔵菩薩は春日明神の本来の姿とされ、春日信仰とともに地蔵信仰も盛んになりました。鎌倉時代の仏教説話集『沙石集（しゃせきしゅう）』には、霊験あらたかな地蔵として福智院や十輪院など、奈良の地蔵が記されています。

（※1）御詠歌（ごえいか）は五・七・五・七・七の和歌に節をつけて唱える歌。和讃（わさん）は七五調や五七調の詩に曲を付けたもの。

Q2 地蔵盆の行われる日はいつ？

A

7月または8月の23日、24日に行われます

奈良は7月開催が多いです。元文5年（1740）成立の『南都年中行事』には、「他国では7月24日を地蔵祭とするが、南都では6月24日を専ら法会とする」として、奈良町の寺院や町の地蔵祭（地蔵盆）が紹介されています。それが新暦に変わっても引き継がれ、7月24日ごろに行われてきたと考えられます。

Q3 実際にどんなことをしているの？

A 法要や数珠繰り、縁日など、やることは各町やお寺でさまざま

でもそれだけではありません！ 今回は瓦町（ならまち／㉘）の地蔵盆に5日間、密着取材してみました。

7月20日 **3日前** 19:00~20:30 **事前準備**

福引札を約100枚、縁日で使うヨーヨーのこよりを150個作成。また、一斗缶に入ったフライビーンズ（豆）を約180個の小袋にわけていく。

7月21日 **2日前** 9:00~9:30 **お地蔵さんを洗う**

会所（地蔵堂）の表と裏にお祀りする16体のお地蔵さんを、瓦町地蔵講の方々がタワシできれいに洗う。また1年間使った古い前掛けも外す。

7月22日 **1日前** 13:30~14:00 **前掛けをつけ替え**

お地蔵さんにピカピカの赤い前掛けをつける。前掛けは地蔵講の方々や、役員の奥さんなど、町内の人が協力して縫ったもの。

7月23日 **当日** 7:30~ **朝の準備**

男性は外で提灯や幕を飾り、女性は地蔵堂内に軸4本（地蔵菩薩、孔雀明王）を掛ける。お地蔵さんの御膳や、お稲荷さんのお供物も用意。

8:00~ **瓦町地蔵和讃の唱和**

地蔵講の方々がお地蔵さんの前に集まり、瓦町オリジナルの地蔵和讃（P1※1参照）と、般若心経を3回唱える。

10:00前後 **お坊さんの読経**

この日は、お坊さんもあちこちの町の地蔵盆を回るので、とても忙しそう！

町の人が続々参拝

一日を通して、町の人がお地蔵さんにお参りにくる。お供えものもたくさん。

15:00~16:00 **縁日の準備**

縁日で使う水風船150個を用意。ワザと前の人に水を飛ばすイタズラをしたりして楽しそう！

17:30~ **子どもの数珠繰り**

会所のなかで、子どもと地蔵講の女性が輪になって、大きな数珠を回しながらお念仏を唱える。子どもにはかわいいお念珠をプレゼント♥

18:00~20:00 **子ども縁日**（※町内の人のみ）

ヨーヨーすくいと、スーパーボールすくいを実施。回数制限はなく、好きなだけ楽しめるのがうれしい。お持ち帰りもOK。

7月24日 **翌日**

18:00~20:00 **福引**（※町内の人のみ）

商品はなんと約100個、子ども向けの当てものも30～40個のオモチャを用意するなど、外れクジなしの人気イベント。

瓦町地蔵盆運営役員に Interview

（左）自治会長 上田 好俊さん
（右）自治会副会長 片岡 祥晃さん

地蔵盆は子ども会や地蔵講を含めた約20人で運営しています。去年は若い方も積極的に準備に参加してくれました。地蔵盆は子どもからお年寄りまでが交流できる良い機会。新しく転入された方も、気楽に祭りの輪に加わってほしいですね。

瓦町子ども会 世話人 北出 好宏さん

令和元年度から数珠繰りの時間を夕方に変更し、子どもが縁日がてら楽しめるように工夫しました。地域の伝統行事は、子どもが社会性や文化、郷土愛を育むきっかけになります。地蔵盆のお手伝いも大歓迎ですよ！ 一緒に楽しみましょう。

瓦町地蔵講＆OGのみなさん

お地蔵さんは普段は私たちが管理し、毎月23日に供養などを行っています。講は明治初めごろから続いており、数珠繰りのはじまりは大正年間まで遡ります。瓦町地蔵講の伝統行事として、子どもたちにも数珠繰りを伝えていきたいです。

7月23日に
地蔵盆を
巡ってみよう!

7月23日に、奈良町のあちこちで行われる地蔵盆。
時間差アタックで、ぐるっと巡ってみませんか。

由緒あるお寺、路地裏のお地蔵さんを訪ねて

ならまちエリア

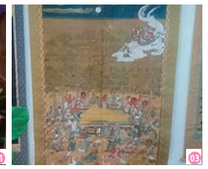
夏、新しき衣へ
秘仏のお着替え

小川町 Ⓐ傳香寺 でんこうじ MAP P3A1

時間／16時～16時30分（着せ替え法要）
近鉄奈良駅から徒歩約5分

この寺にある地蔵菩薩立像は、鎌倉時代の木造で重要文化財。「はだか地蔵尊」とも呼ばれ、衣と袈裟を身に着けています。地蔵盆の日は年に1度の着せ替えが行われ、そのようすを一目見ようと、本堂は大勢の人でいっぱいに。僧侶たちが唱和する読経が響くなか、お召し物が丁寧に着せ替えられていきます。そのようすを参拝者たちは手を合わせて見守ります。

01


03

02

04

01小さなお堂にお地蔵さんがぎっしり。紅白の前掛けが鮮やか！ 02年代を感じさせるお地蔵さんの掛け軸。03釈迦涅槃図の掛け軸などを特別に公開。04スイカにカブトムシ、かき氷に風鈴。子どもたちの描いた行灯にほっこり♥

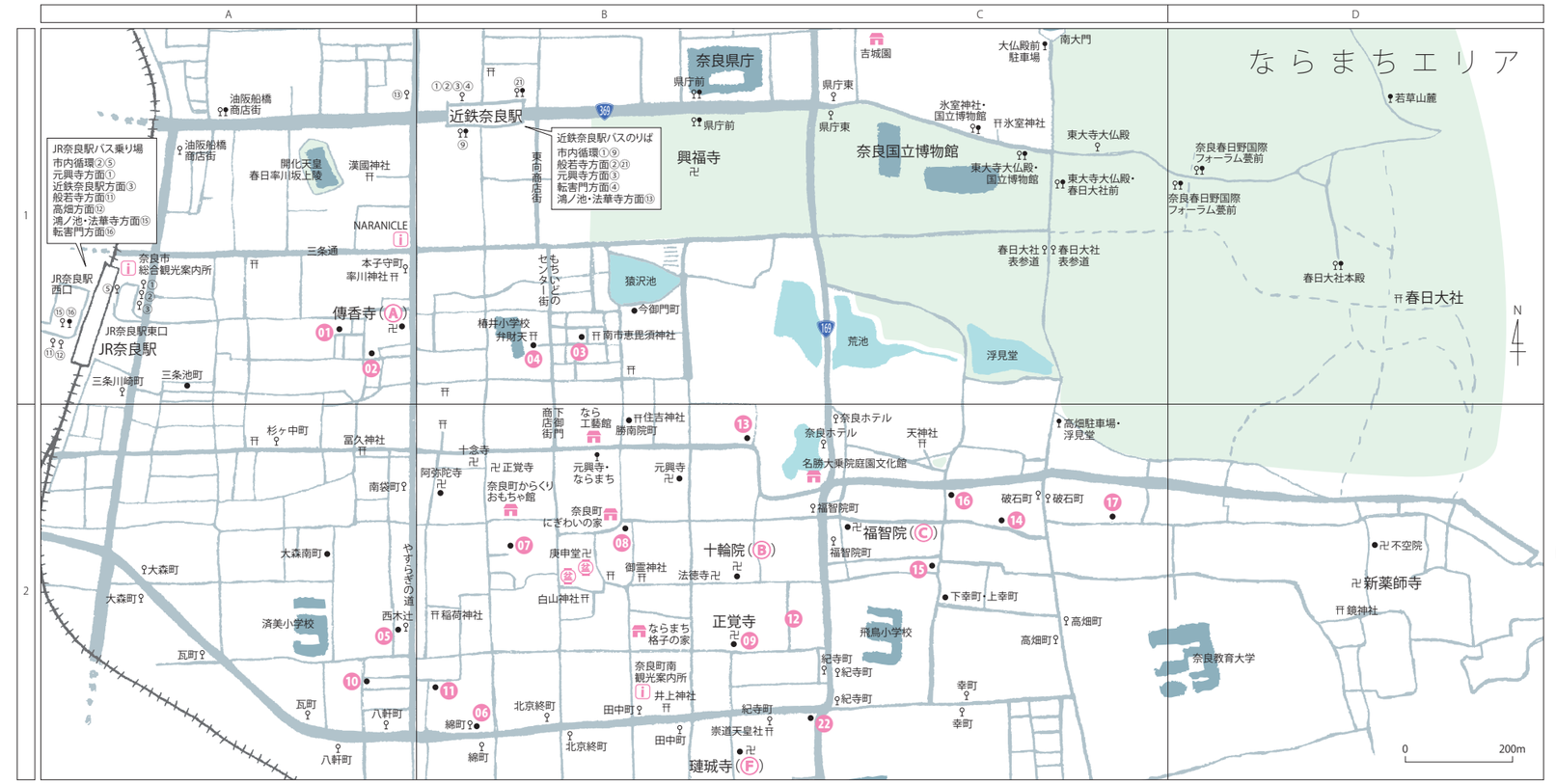
01奥子守町 MAP P3A1
時間／9時～15時
内容／14時～15時 御詠歌

02寺町 MAP P3A1
時間／12時頃～15時頃
内容／法要
特別公開：掛け軸

03南市町 MAP P3B1
時間／10時～20時
内容／14時～法要
特別公開：掛け軸4幅
※24日もあり。10時～15時

04餅飯殿町 MAP P3B1
時間／16時～18時頃
内容／法要、数珠繰り
町内の子どものみ：菓子配布

Ⓐ誌面で紹介している地蔵盆と連動
00誌面で紹介している地蔵盆と連動
インフォメーション（観光案内所）
施設
地蔵盆の雰囲気が味わえるスポット（※参加は町内の人限定）
バス停（奈良交通）
バス停（ぐるっとバス）



子どもも大人も
巨大な数珠に息災願う

福智院町 Ⓒ福智院 ふくちいん MAP P4C2 出店

時間／17時～20時
近鉄奈良駅から奈良交通バス（天理方面行）「福智院町」下車、徒歩すぐ

本堂に安置されている木造の地蔵菩薩座像は重要文化財。約7mという巨大なお地蔵さんが本尊というのは、とても珍しいものです。
境内では護摩焚きが、そして同時に本堂では6人の僧侶たちによる読経が行われ、圧巻。その後、大人と子どもが混ざって数珠繰りをします。集まっているみんなが盛り上がるイベントは、奈良町音声（おんじょう）館わらべ歌教室の子どもたちによる童歌です。フランクフルトやかき氷の出店もあって、歌いながら、遊びながら誰でも楽しめる、とても明るい雰囲気の地蔵盆です。

12

13

15

17

12 7月23日は国史跡・頭塔が無料で見学OK。入口のお地蔵さんと合わせて、頭塔の石仏群にもお参りしよう。13通称「勝軍地蔵」。騎馬姿がカッコイイ！ 14経年劣化で線刻が消えたお地蔵さん。元のお姿がコチラ。17お供え物の説明を見つけたよ。

14上清水町 MAP P4C2
時間／9時～18時頃
内容／13時頃～読経
特別公開：史跡頭塔

15笠屋町 MAP P4C2
時間／9時～20時
内容／17時30分～読経、わらべ歌、数珠繰り、ゲーム
※24日もあり。午前中

16中清水町 MAP P4C2
時間／10時～20時頃（変更の可能性あり）
内容／13時30分～読経

17下高畑町 MAP P4C2
時間／17時30分～19時頃
内容／参拝
町内の子どものみ：ゲーム、菓子配布

7月23日以外もやってます！

大森南町 MAP P3A2
7月22日 朝～21時

不空院 MAP P4D2
7月24日 17時～21時

阿弥陀寺 MAP P3B2
7月23日の前の土曜日か日曜日
13時～16時

下辛町・上辛町 MAP P4C2
7月23・24日に近い土曜日
15時～18時頃

三条池町 MAP P3A1
7月最終日曜（年により変動あり）
13時～14時

今御門町 MAP P3B1
8月7日 朝～夜

勝南院町 MAP P3B2
8月23日 11時～16時

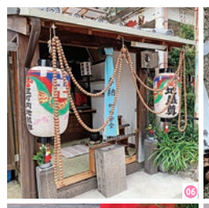
元興寺（地蔵会万燈供養） MAP P3B2
8月23日・24日 23日：17時～21時、24日：17時～21時

まるで別世界
堂内照らす提灯の光

十輪院町 Ⓑ十輪院 じゅうりんいん MAP P3B2

時間／18時～20時
近鉄奈良駅から奈良交通バス（天理方面行）「福智院町」下車、徒歩約3分

中世から庶民の地蔵信仰の中心として栄えた寺で、花崗岩の切石を用いた、珍しい「石仏龕」（せきぶつがん。重要文化財）があります。龕とは仏像などを収めるための厨子や壁面のくぼみのことで、壁面に設けられた龕の中心に地蔵菩薩像、左右に弥勒菩薩像・釈迦如来像が刻まれています。僧侶たちが読経をして、その後、参拝者がお地蔵さんにお参りをしますが、とても静謐な雰囲気がただよいます。庭がきれいで、蓮の季節には写真を撮りにくる人も。


06

09

10

06まるで暖簾？地蔵堂の前に長い数珠がぶら～り。09夏野菜や果物をいっぱいお供え！ 09正覚寺境内にひっそり佇む小さな石仏。10うまく入るかな？ 輪投げでワイワイ♪

05瓦町 MAP P3A2
時間／8時～20時
内容／地蔵和讃、読経、数珠繰り、お菓子配布
町内の人のみ：23日18時～出店（子ども向け）
※24日もあり。9時頃～21時

06綿町・京終地方東側町・西側町 MAP P3B2
時間／9時～18時頃
内容／午前中 法要（時間は年により異なる）
町内の人のみ：夕方～福引、ゲーム（子ども向け）

07南城戸北方町・南城戸南方町・浄言寺町 MAP P3B2
時間／10時～20時頃
内容／11時～読経、17時～子どものわらべ歌、お地蔵さんのお話
※24日もあり。10時～20時頃

08中新屋町 MAP P3B2
時間／10時～
内容／10時～読経。参拝自由

09築地之内町 MAP P3B2
時間／11時～16時
内容／菓子・茶のおもてなし、おもちゃ配布
町内の人のみ：くじ引き

10八軒町 MAP P3A2
時間／11時～19時
内容／参拝自由、法要、ふるまい（豆）
町内の人のみ：縁日
※24日もあり。9時～19時

11十三軒町 MAP P3B2
時間／18時～20時
内容／出店（子ども向け）
町内の人のみ：福引
※24日もあり。9時30分～11時

12中通町 MAP P4C2
時間／18時頃～19時頃
内容／参拝自由、数珠回し（参加自由）
※毎年会場が異なる

13御所馬場町 MAP P3B2
時間／18時～20時
内容／18時～法要
町内の人のみ：福引
※24日もあり。午前中

7月23日に地蔵盆を巡ってみよう!

町のあちこちで開催! 特別な風景を楽しめる

きたまちエリア

縁日＆グルメ 両方楽しめる地蔵盆

花芝町 Ⓓ花芝町(十福地蔵尊) はなしばちょう(じゅっぷくじぞうそん) MAP P6B3 出店

時間／15時～19時30分
近鉄奈良駅から徒歩約2分

近鉄奈良駅から北へ延びる花芝商店街にあるお地蔵さんで、「十福」とは地蔵尊を信仰することによって授けられる、健康や知恵などの10種の福徳のことです。
商店街には焼き鳥やアユの塩焼き、かき氷など、地元商店街の人たちによる露店が並びます。スーパーボールすくいやヨーヨーすくいなど、子ども向けの縁日もあり、親子で楽しめます。夕方には提灯に明かりが灯り、たくさんの人で賑わうなか、慈眼寺の僧侶による法要が静かに行われます。

のんびり、ほのぼの 紙芝居で知る「お地蔵さん」

川久保町 Ⓔ念聲寺 ねんしょうじ MAP P6B3

時間／18時～19時
近鉄奈良駅から徒歩約10分

舟の形をした光背から浮き出すように彫られたお地蔵さんが、地蔵堂に安置されています。「船御光地蔵尊」とも呼ばれ、宝永元年(1704)の火災でも焼けずに、近隣の信仰を集めてきました。
住職による法要が終ったあと、念仏を唱えながら大人と子どもがみんなで数珠繰りをします。続いて住職が「笠地蔵」の紙芝居や、お地蔵さんにまつわるお話しを、とてもわかりやすく話してくれます。子どもたちは熱心に聞いていて、学びの場にもなっています。

⑱なんと住宅の一角に地蔵堂が! らが本番! お昼は参拝自由。 ⑲歌人・会津八一の歌にも登場した、興善院町の夕日地蔵。⑳手員町の地蔵盆は夜か

⑱北半田中町 MAP P6B3
時間／10時～20時30分
内容／法要、18時30分頃～子ども抽選会(有料、参加自由)
※24日もあり。9時～17時

⑲興善院町 MAP P6C2
時間／11時30分～18時
内容／11時30分～法要、17時30分～菓子配布

⑳手員町 MAP P6C2
時間／17時～18時頃
内容／灯明、18時～御詠歌
町内の人のみ：福引
※24日もあり。～11時頃

㉑法蓮町南一丁目・法蓮町南二丁目 MAP P6B3
時間／18時～20時
内容／参拝、数珠回し

このほかにも、たくさんのところで地蔵盆が開催されているよ!

7月23日に地蔵盆を巡ってみよう!

昼間に巡るならこのエリアがおすすめ!

京終エリア きょうばて

数珠繰りにスイカ お寺で過ごす夏の一日

西紀寺町 Ⓕ璉城寺 れんじょうじ MAP P6E4

時間／13時30分～15時30分
近鉄奈良駅から奈良交通市内循環バス「紀寺町」下車、徒歩約2分

昔は南紀寺の農家の人たちの行事でしたが、お地蔵さんがこの寺に寄贈されて今のような形に。境内に安置されたお地蔵さんの前で、住職の読経がはじまり、集まった子どもたちが順番にお参りをします。住職の声はとても美しく、思わず聞きほれるほど。そのあとは、大人と子どもがいっしょに数珠繰りをしたり、腹話術や手品の出し物を見て、スイカを食べたりして楽しく過ごすなど、とってもフレンドリーな雰囲気の地蔵盆です。

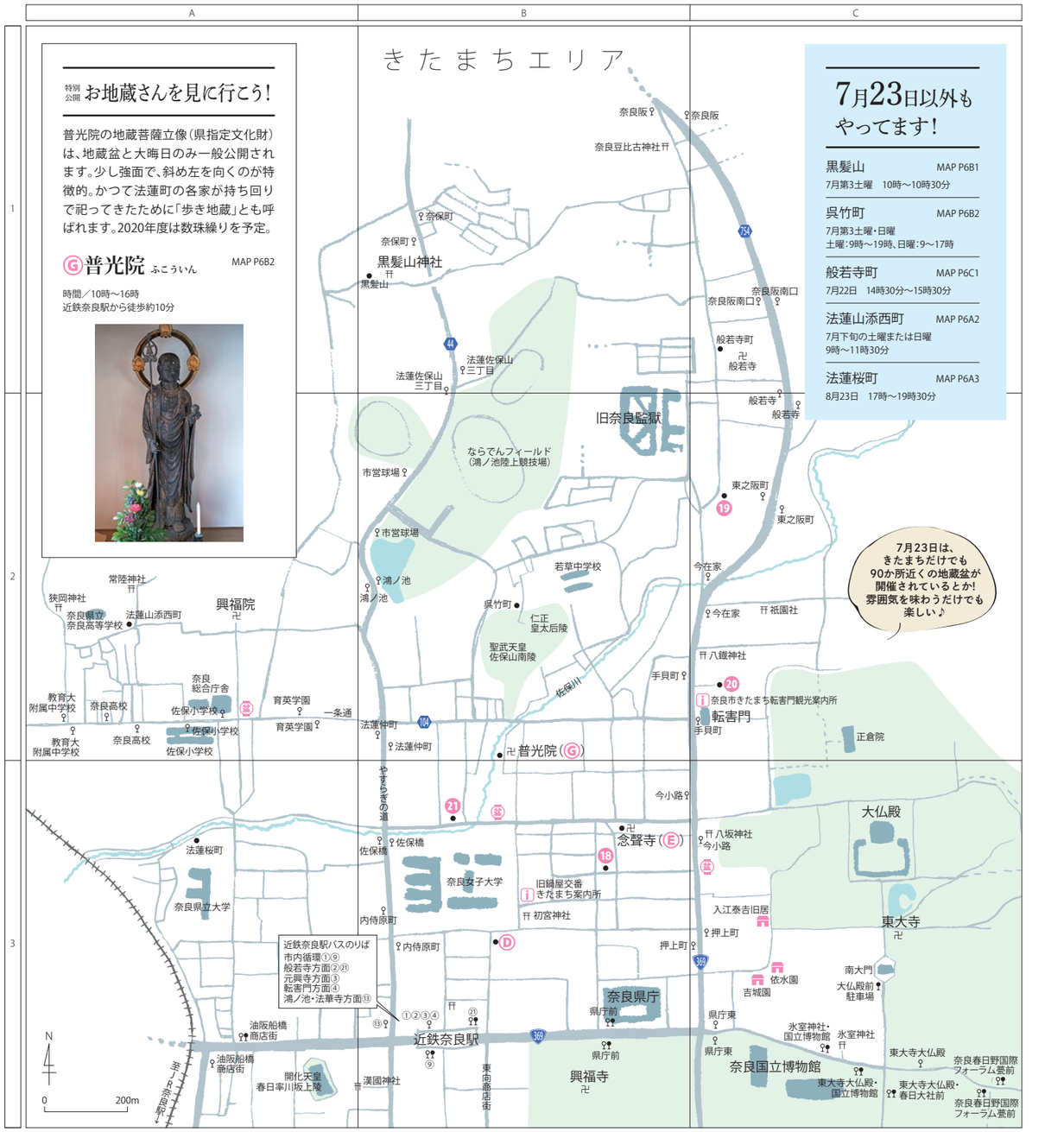
㉒令和元年度は、地元公民館主催"地蔵盆巡りツアー"参加の子どもたちで大にぎわいに♪ ㉓お菓子や果物など、お供え物がどっさり! ㉔全部で何体!? お地蔵さんがひしめく肘塚町の地蔵盆。㉕京終地蔵院(北京終町)に祀られている阿弥陀三尊像。このほか、59体のお地蔵さんがある。

㉒紀寺東口町 MAP P6E4
時間／9時～17時頃
内容／17時～読経(子ども向け)

㉓新屋敷町 MAP P6E4
時間／9時～20時頃
内容／16時～読経

㉔肘塚町 MAP P6D4
時間／10時～11時頃
内容／読経

㉕北京終町 MAP P6D4
時間／9時～15時30分
内容／参拝自由



ここも注目!!

奈良町の地蔵盆

地蔵盆に欠かせない
「お地蔵さん」「お供え物」「提灯」
に注目してみました。さまざまな形があるので、
見比べながら巡るのも楽しみの1つですよ。

注目1 こんなにあるの!? “お地蔵さん”

お地蔵さんといえば、やっぱり石造!

ひと言にお地蔵さんといっても、その形はさまざま。お姿がハッキリとわかるものから、町の川や池の工事などで見つかった、まさに“石？”に見えるお地蔵さんまで、いろいろとある。

お地蔵さんの光背が“舟の形”！ 念聲寺（きたまち／E）

地蔵堂の前に並ぶ石仏群。瓦町（ならまち／05）

木造のお地蔵さんもこんなにあるよ

お地蔵さんは石造だけでなく、木造のものも多い。なかには騎馬姿のお地蔵さんや、小指ほどの小さなお地蔵さんがたくさん並ぶものもある。

圧巻!の千体地蔵。餅飯殿町（ならまち／04）

騎馬姿の鎧地蔵。笠屋町（ならまち／15）

持ち運べるお地蔵さん。毎年、各家が持ち回りでお祭りする。中通町（ならまち／12）

掛け軸のお地蔵さんも!

この日だけ、特別にご開帳する。寺町（ならまち／02）

注目2 おいしそう♪ 地蔵盆の“お供え物”

夏らしいお供え物

キュウリやナス、トマトにトウモロコシ。季節のおいしそうな野菜と果物は、お供え物のテッパン！あちこちで見かける。

小さな御膳にも注目!

煮物やあえ物、汁物や香の物など、小さな仏飯器に盛られた本格的な御膳。

瓦町（ならまち／05）

地蔵盆のときだけお目見え?

旬野菜や果物、乾物などを美しく飾ってお供えするところも。以前は乾物屋さんで「地蔵盆用で」と頼むと、こんな形にしてくれたのだそう。

上清水町（ならまち／14）

注目3 地蔵盆に欠かせない“提灯”のひみつ

絵柄（幕柄）に、いろんなデザインがあるって知ってた？

健康を祈願して奉納する提灯には、カラフルな絵柄（幕柄）が描かれている。同じように見えて、実は少しずつデザインが異なっている。

（左から）綿町・京終地方東側町・西側町（ならまち／06）、新屋敷町（京終／23）、中通町（ならまち／12）、般若寺町（きたまち）

手描き提灯を作り続けて70年

江崎傘提灯店

江崎傘提灯店
奈良市脇戸町20-1
☎0742-22-4735
営業／9～18時

江崎さんご夫婦

慣れた手つきで提灯に文字を描く、2代目の江崎慶司さん（89）は、この道70年の大ベテラン。「白い和紙の提灯や、柄がプリントされた提灯に文字を描きます。幕柄から描く提灯もあります」。使うのは、奈良の特産品である“奈良墨”。なかでも高級な“削り墨”にこだわる。

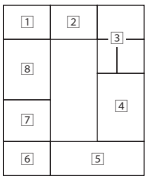
昭和8年（1933）、和傘店として創業。「和傘は紙と竹、油でできている。提灯も一緒です」と江崎さん。時代の流れか、創業期は奈良市内に4軒あった提灯店も、現在は2軒に。その伝統を守る店として、近隣の地蔵盆をはじめ、各社寺に納めるさまざまな提灯を制作する。

「地蔵盆が終わると、“来年も頼むで”と、おなじみさんから発注がくるのがうれしい。今年も提灯作りのご縁をいただいたことに感謝ですね」。

心を込めて作られる提灯。地蔵盆の日は注目して巡ってみては。

（正誤表）「伝統行事＆お祭りBOOK 奈良町 VOL.1 特集 神社のお祭り」（平成31年3月29日発行）におきまして、記述に誤りがありました。お詫びして訂正致します。

奈良町歳時記（P4～6）正誤表			
ページ	スポット番号・行事名	誤	正
P4	⑱佐保川・川路桜祭り	（川路桜を守る会）	（佐保川・川路桜保存会）
P4	㊴住吉神社夏祭り（勝南院町）	8月23日	7月31日
P5	㊶地蔵盆（般若寺町）	7月22日	7月23日前後の日曜日
P5	㊼率川地蔵地蔵盆（今御門町）	8月7日	8月6日、7日
P6	㊽冨久神社の初戎	南魚屋南町	南魚屋北町・南魚屋中町・南魚屋南町
		3日：10時～17時、4日：10時～17時	4日：10時～17時、5日：10時～17時
		3日 神事、吉兆笹・縁起物授与。4日 吉兆笹・縁起物授与	4日 神事、吉兆笹・縁起物授与。5日 吉兆笹・縁起物授与
P6	㊺稲荷神社の月祭り（西木辻中町）	稲荷神社の月祭り	聖天堂の月祭り



【表紙写真】
1 璉城寺（京終／F）
2 八軒町（ならまち／10）
3 傳香寺（ならまち／A）
4 花芝町〔十福地蔵尊〕（きたまち／D）
5 念聲寺（きたまち／E）
6 八軒町（ならまち／10）
7 中清水町（ならまち／16）
8 笠屋町（ならまち／15）

掲載している地蔵盆は、平成30年に各町の自治会長にお願いしたアンケートに基づき作成しています。地域で実施されているすべての地蔵盆を掲載するものではありませんので、ご了承ください。

伝統行事＆お祭りBOOK 奈良町 VOL.2 地蔵盆　令和元年11月29日発行／奈良市（観光経済部 奈良町にぎわい課　〒630-8335 奈良市鳴川町37-4　TEL0742-24-8936）
協力：奈良県立大学 地域創造学部 堀野正人教授、野本暉房（撮影）